

*Red Data Book of Wakayama Prefecture*

# 植物群落の概要

植物・植物群落専門部会

## (1) 森林植生

和歌山県の人工林面積の割合は61%に達し、現在の森林景観からは本来の森林植生を推定することが難しい。しかし、島嶼や社寺林、植林不適地等には伐採を免れた天然林がわずかに残存する。ここでは、主に気候条件による分類に基づき、森林植生及び植物群落について概要を述べる。

### (ア) 冷温帯森林植生

紀北地域では、標高800m付近から上部が冷温帯に属し、この地域の代表的なブナ群落は「紀州の尾根」と呼ばれ本県の最高の標高域となる護摩壇山（田辺市）周辺に最も広く残されている。冷温帯と暖温帯の境界は果無山脈を越えて南下するに従い高度を上げ、大塔山系では標高1,000m付近に達する。本州南限域に発達するこれらのブナ群落は、アカガシ等の常緑広葉樹を伴う点で特筆されるものであるが、その多くは皆伐によって姿を消し、残された林分が山頂付近や稜線部に散在しているのが現状である。

### (イ) 冷・暖温帯移行部森林植生

移行帯とも呼ばれるこの植生には、主にモミ・ツガ等の針葉樹を高頻度で交えた森林が存在し、これらの森林は中間温帯林とも呼ばれる。標高1,000m前後の山々が東西に連なる紀伊山地を広く覆い、地域性の高い植生構造を示している。

紀北地域では高野山（高野町）、白馬山脈（有田川町・日高川町）、西ノ河国有林（日高川町）、亀谷国有林（田辺市）、京都大学和歌山研究林（有田川町）にみられる他、紀南地域では果無山脈、大塔山系（田辺市・古座川町・新宮市）、笠塔山（田辺市）、白見山（新宮市）、四ノ谷国有林（北山村）に分布する。針葉樹ではコウヤマキやトガサワラ、広葉樹ではフサザクラ等、遺存的な分布を示す我が国の固有種が構成種としてみられることも特筆すべき点である。

### (ウ) 暖温帯森林植生

シイ・カシ、タブノキ、ヤブツバキ等、ブナ科やクスノキ科及びツバキ科の常緑広葉樹が優占するこれらの森林は、その葉の特徴から照葉樹林とも呼ばれる。歴史的に人間活動の影響を最も強く受け続けてきた地域であり、その大部分が代償植生に変貌し、本来の自然植生は、社寺林や島嶼等にごくわずかに残存するのみである。シイ林には、沿海地に発達するスタジイ群落と、平野部の丘陵地や山地に発達するツブラジイ（コジイ）群落とがある。現存するまとまった林分としては、紀伊大島（串本町）、太地海岸（太地町）、江須崎（すさみ町）のスタジイ群落があり、ツブラジイ（コジイ）群落では、笠塔山、坂泰国有林、水上の民有林（田辺市）、那智原始林（那智勝浦町）、古座川支流の成見川流域（古座川町）等がある。

## (2) 地形・地質的条件と関わりをもつ植生

### (ア) 尾根上岩角地の植生

尾根や稜線上の急傾斜地や岩角地では、貧栄養や乾燥に強いコウヤマキ、トガサワラ、ヒメコマツ、ツガ、ヒノキといった針葉樹が生育し、構成種としては中間温帯林と同様であるが広範囲にまとまったものはほとんど存在しない。低木の植生構成種としてアケボノツツジ、ホンシクナゲ、アセビ等のツツジ科の樹木が出現する他、ウバメガシの混生が認められる場合がある。

### (イ) 特殊岩石地植生

龍門山（紀の川市）、黒沢山（海南市）に代表される蛇紋岩地は、土壤の乾燥と貧栄養、重金

属イオンの影響で森林が発達せず、アカマツ群落やツゲ等の疎林、イネ科植物を主とした草地からなる。龍門山の山頂付近ではバラ科の落葉低木イワシモツケ（キイシモツケ）が群落を成している。霊巖寺（湯浅町）、立石（有田川町）に局所的に存在する石灰岩地ではウバメガシ群落が発達する。これらの特殊岩石地にはイワツクバネウツギ等、特有の植物がみられる。

### (3) 水環境と関わりをもつ植生

#### (ア) 溪流辺植生

紀伊山地の渓谷や峡谷等の美しい自然景観は河川の浸食作用によって生み出されたものである。溪流の岩場にはサツキの低木群落が発達し、ホソバノギク、ヤシャゼンマイ等に代表される溪流沿い植物がみられる。岸壁の岩上や岩隙にはラン科植物やシダ植物等の集団が見られるが、趣向性の高いものは盗掘されて絶滅の危機に瀕している。これらの植生は、古座川峡の一枚岩（古座川町）、熊野川の支流、小口川の静閑瀨（新宮市）等に代表される。河川の増水や濁水をもたらす攪乱作用を強く受けて成立する溪流辺植生は自然環境の影響を受けて変動が著しい。

#### (イ) 湿地植生

黒沢山（有田川町）の沼池は県内唯一の天然池で、周囲の植生とともに水生動物の生息地としても重要であるが、近年、遷移の進行とともに乾燥化が認められる。海岸付近には、入江の一部や河口が砂州によって封鎖されてできる海跡湖や潟湖にヨシ群落等が発達しており、友ヶ島の深蛇池（和歌山市）、阿尾湿地（日高町）が代表的である。

#### (ウ) 海浜植生

河口付近の感潮域や入り江の湾奥には塩性湿地植生が成立し、ヨシ群落とともに塩分耐性を持ったキク科植物、ウラギクの草本群落が見られる。日高川・王子川河口（御坊市）、太田川河口（那智勝浦町）に成立するハマボウ群落は全国有数の面積を持つものであり、ゆかし潟の河口付近にみられるハマサジ、フクド等の草本群落は、県内唯一のものである。田辺湾（田辺市）には、周囲の低山から湾奥に流れ込む小河川の河口付近に小規模な塩性湿地が点在し、ハマサジを伴うヨシ群落が存在する。これらは小規模ではあるが、塩性湿地特有の植物群落として貴重なものである。

海岸域には、強い日射や潮風、波浪といった植物にとってより一層過酷な環境条件の下に特有の群落が発達する。代表的なウバメガシの海岸林に続き、イブキ、ハマヒサカキ等が風衝樹形となって生育する。海岸の砂礫地や崖地には、厚手の葉や直根をもった草本植物群落が発達する。岩隙にはキキョウランや紀伊半島固有種であるキノクニシオギクが、礫浜や砂浜には、ハマゴウ、ハマオモト、ハマダイコン、ハマナタマメ、ハマエンドウ等、海浜植生を特徴づける植物が出現する。

### (4) 半自然植生

#### (ア) 里山林

里山林を構成する植物群落は、本来の自然植生だけでなく、地域の生業と強い関わりを持つ場合が多く、薪炭材や林用特産物の生産、肥料としての落ち葉かき等、農林業と密接に関わって森林資源が持続的に利用されてきた。コナラやクヌギ、アラカシやウバメガシといったブナ科樹木を中心としたこれらの植生は二次林、薪炭林とも呼ばれ、特に、日高川町、みなべ町、田辺市等においては紀州備長炭に代表される製炭業が伝統的に続いている。一方、人為攪乱によって林床植物の生活史にも適合した生育環境が保たれ、絶滅危惧植物の保全環境が副次的に成立している。光環境が適度に保たれた林床にはキンラン、シュンラン等ラン科植物の自生もみられる。

防風・防潮林の役割を併せ持ったものとして、アカマツ・クロマツ群落（美浜町・御坊市）がある。この他、日高地方の海岸域を中心に分布するアコウ群落（湯浅町・由良町・日高町・美浜町・御坊市）は植栽起源とされるがその歴史的背景は興味深い。

#### （イ）草原植生

採草地や牧草地として利用されてきた草原は「茅場」といい、かつては広い面積を有していたと思われるが、茅の需要低下や管理放棄に伴って草原が縮小・消失しつつある。県内でまとまった面積を持って残されたものは生石高原（紀美野町・有田川町）が唯一である。ここはスミレ類をはじめマツムシソウ等の草本植物の生育地としても重要であり、地域住民等による山焼き、草刈りといった植生管理が定期的に行われ、良好な自然景観が保たれているが、レクリエーション的利用の増加がもたらす外来植物の侵入や盗掘による影響が強く懸念される。

#### （ウ）湿地植生

降水量の少ない紀北地域を中心として、灌漑用のため池が県内各所に残っており、ヨシやガマ類等の抽水植物、オニバスやヒツジグサ等の浮葉植物、ミズオオバコやミズニラ等の沈水植物等、生育型を異にする湿地性の水草が水位に応じて同所的に生育している。湿地性の植物群落を豊富に有するものとして、紀の川市貴志川町のため池群、有田川町沼田のため池群、田辺市～日高郡ため池群がある。

平野部の少ない紀南地域では、かつて、谷間の深田や低湿地を利用した粗放的な稲作が行われていた。このような水田跡地に付随したものとして、田辺市本宮町皆地、白浜町笠甫、串本町田原、那智勝浦町下里・八尺鏡野、太地町夏山・河立の湿地植生がある。特に、串本町田原地区の湿地は、近畿地方でも広範な面積を持った湿地として注目される。これらの湿地では周囲からの流入水や湧水の停滞により湿地性植物の生育に適した水位が保たれているが、休耕によって遷移の進行がみられる他、場所によっては流れ込む土砂によって埋没しつつある。

#### （エ）スギ植林

植栽された人工林であっても、長期にわたり育成管理された森林においては、適切な光環境と生育空間が確保されることにより、林内に多様な低木や草本植物が混生する。特に、シマユキカズラ群落（田辺市）、リュウビンタイ群落（太地町）は保全上注目されるものである。

●カテゴリー：①良好

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 大年神社のホルトノキ林      | 春日神社の社寺林         |
| 日前宮の社寺林          | 要害森山のトガサワラ林      |
| 春日神社のコジイ林        | 坂泰山の自然林          |
| 天王神社の社寺林         | 笠塔山の自然林          |
| 楊柳山の自然林          | 大杉谷・黒蔵谷の自然林      |
| 奥の院の大杉林          | 大塔山の自然林          |
| 高野山コウヤマキ希少個体群保護林 | 法師山の自然林          |
| 高野山のツガ林          | 将軍山・大森山の自然林      |
| 高野山のコウヤマキ林       | 稲積島の自然林          |
| 春日神社のコジイ林        | 沖ノ黒島の自然林         |
| 宇賀部神社のコジイ林       | 里野八幡神社の社寺林       |
| 黒沢山沼池の湿地及び蛇紋岩地植生 | 樫野海岸のスダジイ林       |
| 有田川町沼田のため池群      | 潮岬・紀伊大島の海岸植生     |
| 加茂神社のコジイ林        | 重畳山のスダジイ林        |
| 長保寺の社寺林          | 八坂神社のコジイ林        |
| 立神社の社寺林          | 尾崎神社の社寺林         |
| 宮崎ノ鼻の海岸植生        | 成見川の自然林          |
| 立石の石灰岩地植生        | 浦神半島のウバメガシ林      |
| 田殿丹生神社のコジイ林      | 太田川河口の湿地植生       |
| 白馬山のブナ林          | 下里の池の谷湿地植生       |
| 亀谷の自然林           | 八尺鏡野の湿地植生        |
| 西ノ河の自然林          | 太地海岸のスダジイ林       |
| 霊巖寺の石灰岩地植生       | 河立の湿地植生          |
| 蟻島のタブノキ林         | 夏山の湿地植生          |
| 御霊神社のイヌマキ林       | ゆかし潟の塩性湿地植生      |
| 日高川河口の湿地植生       | 那智原始林・那智山国有林の自然林 |
| 川又観音の社寺林         | 久嶋（孔島）鈴島植物群落     |
| 真妻神社のコジイ林        | 新宮藪沢の浮島植物群落      |
| 切目神社の社寺林         | 千穂ヶ峯の自然林         |
| 三所神社の社寺林         | 白見山国有林の自然林       |
| 日神社のコジイ林         | 高田のトガサワラ林        |
| 高瀬川河口のハマボウ群落     | 大雲取山のアカガシ林       |
| 笠甫の湿地植生          | 静閑静の崖地植生         |
| 岡川八幡のコジイ林        | 大倉畑山のウラジロガシ林     |
|                  | 和田川峡の崖地植生        |

中下番のシマユキカズラ群落  
 平治ノ滝の崖地植生  
 三里神社のコジイ林  
 瀨八丁のコジイ林  
 嶋津の森のコジイ林  
 四ノ谷の自然林

●カテゴリー：②やや良

友ヶ島の自然林  
 友ヶ島の深蛇池湿地帯植物群落  
 和歌山城公園の緑地  
 紀伊風土記の丘のコナラ林  
 龍門山の蛇紋岩地植生  
 摩尼山の自然林  
 矢立の墓地林  
 生石神社の社寺林  
 生石山の草地植生  
 京都大学和歌山研究林の自然林  
 若藪山のブナ林  
 鷹島のスダジイ林  
 黒島の暖地性植物群落  
 衣奈八幡神社のスダジイ林  
 阿尾の湿地植生  
 日ノ山のウバメガシ林  
 龍王神社の社寺林  
 松原王子神社の社寺林  
 上阿田木神社のスギ林  
 御滝神社の社寺林  
 畑峰地藏社のウバメガシ林  
 切目川河口のハマボウ群落  
 小殿神社のイスノキ林  
 鹿島のタブノキ林  
 神島の自然林  
 住吉神社の社寺林  
 果無山脈の自然林  
 東ノ川の自然林

水上の自然林  
 安川のヒノキ・コウヤマキ林  
 安宅八幡神社のコジイ林  
 江須崎の自然林  
 大島のマテバシイ群落  
 大島のハドノキ群落  
 通夜島のスダジイ林  
 九龍島の自然林  
 串本町田原地区の水田・湿地  
 古座川峡の岩上・岩隙植生  
 太地のリュウビントイ群落  
 那智山旧参道のスギ並木  
 宇久井半島の海岸植生  
 阿須賀神社のスダジイ林  
 白見山民有林の自然林

●カテゴリー：③不良

紀の川河口の湿地植生  
 紀の川市貴志川町のため池群  
 船岡山のコジイ林  
 箕六弁財天社のアカガシ林  
 有田川河口の湿地植生  
 護摩壇山の自然林  
 西部海岸域のアコウ个体群  
 煙樹ヶ浜のマツ林  
 御坊市・日高郡・田辺市のため池群  
 須佐神社のコジイ林  
 白浜のオオミズゴケ群落  
 琴の滝の自然林  
 苗我島のスダジイ林  
 皆地の湿地植生

●カテゴリー：④劣悪

角間木谷のツガ林  
 伏羊のシリブカガシ林

## 植物群落の一覧表の凡例

1. 植物群落の位置に関する情報は、市町村名、所在地を記述した。
2. 植物群落の類型表（表 1）に基づき、植生のタイプ、植生の種類、単一群落・群落複合のいずれかについて記述した。  
植生のタイプ（群系）：気候や地形等、無機的環境の類似した場所に、生活型が類似した植物が複数生えることによって構成されており、相観を決定付ける要素となる。  
植生の種類（単一群落）：ある場所を面的に覆っている植生が、均質な相観を見せる優占種によって決定される群落をいう。植生の最上層において最も優占している種をもって、その群落名称を決定する。  
群落複合：水位や潮位の変動、標高や気温、地形や地質等、異なる無機的環境の立地に対し、複数の群系または単一群落が連続または近接して成立することにより、植生の相観が決定される植物群落をいう。
3. 植物群落の状態について 5 段階評価を行い、カテゴリ別に示した。

### 植物群落のカテゴリ

- ①：良好（本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態がよく保たれている。）
- ②：やや良（本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態がよく保たれているが、一部良くないところがある。）
- ③：不良（本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態がよく保たれているとは言えないが、一部良い状態が残っている。）
- ④：劣悪（本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態が質的、または量的に劣悪化している。）
- ⑤：壊滅（群落が壊滅状態にある。）

4. 植物群落の選定基準について、以下の 8 項目に基づき、評価・検討を行った。

### 植物群落選定基準

- A：原生林もしくはそれに近い自然林。
- B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群。
- C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等、分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群。
- D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地及び蛇紋岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの。
- E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの。
- F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの。
- G：伐採その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群。
- H：その他、学術上重要な植物群落または個体群。

5. 国、県、市町村が定めた保全制度について記述した。
6. 植物群落の保全上重要な事項については、その詳細を特記事項に記述した。

表 1 植物群落の類型表

自然資質	立地環境	群落複合名称	植生のタイプ	植生の種類
自然植生	山地	冷温帯森林植生	落葉広葉樹林	ブナ群落 ミズナラ群落
		冷・暖温帯移行部森林植生	常緑広葉樹林 落葉広葉樹林 針葉樹林	アカガシ群落 ブナ群落 モミ群落 ツガ群落
		暖温帯森林植生	常緑広葉樹林	スダジイ群落 ツブラジイ（コジイ）群落 アカガシ群落 ウラジロガシ群落 イチイガシ群落 シリブカガシ群落 マテバシイ群落 ウバメガシ群落 タブノキ群落 ホルトノキ群落 イスノキ群落
		尾根上岩角地の植生	針葉樹林 岩角地・風衝低木林	ヒノキ群落 コウヤマキ群落 トガサワラ群落
		特殊岩石地植生	常緑広葉樹林 針葉樹林 岩角地・風衝低木林	ウバメガシ群落 アカマツ群落 ツゲ群落 イワシモツケ（キイシモツケ）群落
	河川	溪流辺植生	溪流辺低木林 岩上・岩隙草本群落	サツキ群落 イワヒバ群落 岩上・岩隙草本群落
	湿地	湿地植生	湿地植物群落	テツホシダ群落 ヒトモトスキ群落 ヨシ群落
	海岸	塩性湿地植生	塩性湿地植物群落	ヨシ群落 ハマボウ群落
		海崖植生	常緑広葉樹林 海岸低木林 海岸崖地草本群落	ウバメガシ群落 イブキ群落 キキョウラン群落 キノクニシオギク群落
		海浜植生	海浜草本群落	ダンチク群落 ノアサガオ群落 ハマオモト群落
	島	暖温帯森林植生 海崖植生	常緑広葉樹林 海岸低木林 林縁性つる植物群落	スダジイ群落 ウバメガシ群落 ハドノキ群落 ハカマカズラ群落



表 1 植物群落の類型表

自然資質	立地環境	群落複合名称	植生のタイプ	植生の種類
半自然植生	里山林	(単一群落)	常緑広葉樹林 落葉広葉樹林	ウバメガシ群落 コナラ群落
	草地	草原植生	ススキ草原	ススキ群落
	湿地	湿地植生	湿地植物群落	湿地植物群落
		池沼植生	池沼植物群落	オニバス群落 池沼植物群落
	植林	(単一群落)	針葉樹林	スギ群落 コウヤマキ群落 クロマツ群落 アカマツ群落 イヌマキ群落
		(単一群落)	常緑広葉樹林	アコウ群落
		(単一群落)	シダ植物群落	リュウビンタイ群落
		(単一群落)	林縁性つる植物群落	シマユキカズラ群落

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・複合	カテゴリー	選定基準	保全制度	特記事項
友ヶ島の自然林	和歌山市	友ヶ島(沖ノ島)	常緑広葉樹林 海岸低木林	スダジイ群落 ウバメガシ群落	群落 複合	②	E	国立公園	フリハラリス・タイワンジカ等の食害が植生に与える影響が著しい。
友ヶ島の深蛇池湿地帯植物群落	和歌山市	友ヶ島(沖ノ島)・深蛇池	湿地植物群落	テツホシダ群落 ヒトモトススキ群落	群落 複合	②	D	国立公園 県指定天然記念物	水質汚濁等の環境悪化により湿地性植物の減少が著しい。
大年神社のホルノノキ林	和歌山市	木本・大年神社	常緑広葉樹林	ホルノノキ群落	単一 群落	①	E		
和歌山城公園の緑地	和歌山市	一番丁・和歌山城	常緑広葉樹林	緑地	単一 群落	②	E		ホルノノキの枯死によりムフノキ、ケヤキ、エノキ等落葉高木が目立つ。
日前宮の社寺林	和歌山市	秋月・日前宮	常緑広葉樹林	ホルノノキ群落	単一 群落	①	E		
紀伊風土記の丘のコンナラ林	和歌山市	岩橋・紀伊風土記の丘	落葉広葉樹林	コナラ群落	単一 群落	②	E		大日山麓に位置するコナラ群落で林床性植物の重要な生育地である。
紀の川河口の湿地植生	和歌山市	紀の川感潮域	湿地植物群落 塩性湿地植物群落	ヨシ群落	単一 群落	③	D		環境省選定の「生物多様性の観点から重要度の高い湿地(以下重要湿地)」である。
春日神社のコジイ林	紀の川市	東三谷・春日神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ)群落	単一 群落	①	E		
紀の川市貴志川町のため池群	紀の川市	貴志川町長原平池・作兵衛池	池沼植物群落	オニバス群落	単一 群落	③	D		浮葉・湧水植物の重要な生育地である。オニバスの発生年は著しく変動する。
龍門山の蛇紋岩地植生	紀の川市	杉原・龍門山	針葉樹林 岩角地・風衝低木林	アカマツ群落 イワシモツケ(キイシモツケ)群落	群落 複合	②	D	県立自然公園	イワシモツケ(キイシモツケ)群生地については県指定天然記念物。
船岡山のコジイ林	伊都郡 かつらぎ町	西茨田・船岡山	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ)群落	単一 群落	③	E		林内にミミズバイが多数生育する。紀の川流域ではここより東側には見られない。
角間木谷のツガ林	伊都郡 かつらぎ町	白口峯・角間木谷	針葉樹林	ツガ群落	単一 群落	④	A	国定公園	周囲の森林伐採や山崩れ等の影響で縮小された残存林である。
天王神社の社寺林	橋本市	矢倉脇・天王神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ)群落	単一 群落	①	E	国定公園	
摩尼山の自然林	伊都郡高野町	高野山・摩尼山	針葉樹林	モミ・ツガ群落	単一 群落	②	A	国定公園	山頂部にブナの残存木が見られる。
楊柳山の自然林	伊都郡高野町	高野山・楊柳山	落葉広葉樹林	ブナ群落	単一 群落	①	A	国定公園	山頂部にブナの残存木が見られる。
興の院の大杉林	伊都郡高野町	高野山・興の院付近	針葉樹林	スギ群落	単一 群落	①	F	国定公園 林野庁指定特別母樹林 県指定天然記念物	参道沿いに林立するスギ並木である。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・ 複合	カテゴリー	選定 基準	保全制度	特記事項
高野山コウヤマキ希少個体 群保護林	伊都郡高野町	高野山・女人堂付近	針葉樹林	コウヤマキ群落	単一 群落	①	H	国定公園 林野庁指定学術参考 保護林	コウヤマキを主体とする林分である。
高野山のツガ林	伊都郡高野町	高野山・大門付近	針葉樹林	ツガ群落	単一 群落	①	A	国定公園	近年、周辺の森林景観が整備された。
高野山のコウヤマキ林	伊都郡高野町	高野山・弁天岳西部	針葉樹林	コウヤマキ群落	単一 群落	①	H	国定公園 県指定天然記念物	コウヤマキを主体とする森林である。
矢立の臺地林	伊都郡高野町	花坂・矢立付近	針葉樹林	モミ群落 タブノキ群落	単一 群落	②	E		タブノキがややまとまって混生する。
春日神社のコジイ林	海南市	大野中・春日神社	常緑広葉樹林	ツブララジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E	市指定天然記念物	
宇賀部神社のコジイ林	海南市	小野田・宇賀部神社	常緑広葉樹林	ツブララジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E		
黒沢山沼池の湿地及び蛇紋 岩地植生	海南市 海草郡紀美野町 有田郡有田川町	黒沢山山頂部・沼池	針葉樹林 岩角地・風衝低 木林 湿地植物群落	アカマツ群落 ツガ群落 湿地植物群落	群落 複合	①	D	県立自然公園	山頂部の蛇紋岩地植生とともに草党性・湿 地性植物の重要な生育地である。沼池は町 指定天然記念物及び環境省選定の重要湿地 である。
有田川町沼田のため池群	有田郡 有田川町	沼田周辺のため池 7ヶ所	池沼植物群落	池沼植物群落	群落 複合	①	D		多様な生育型を示す浮葉・沈水植物群落の 重要な生育地である。
加茂神社のコジイ林	海南市	下津町下・加茂神社	常緑広葉樹林	ツブララジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E		
長保寺の社寺林	海南市	下津町上・長保寺	常緑広葉樹林	ツブララジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E	県指定天然記念物	ナナミノキなど混生する。
箕六弁財天社のアカガシ林	海草郡 紀美野町	箕六・箕六弁財天社	常緑広葉樹林	アカガシ群落	単一 群落	③	E	県立自然公園	カツラの大径木は県指定天然記念物である。
生石神社の社寺林	有田郡 有田川町	生石ヶ峰・生石神社	常緑広葉樹林	アカガシ群落	単一 群落	②	E	県立自然公園 県指定天然記念物	
生石山の草地植生	海草郡紀美野町 有田郡有田川町	生石ヶ峰	針葉樹林 湿地植物群落 ススキ草原	アカマツ群落 湿地植物群落 ススキ群落	群落 複合	②	E	県立自然公園	草党性・湿地性植物の重要な生育地であり、 保全と公園利用の両立が課題である。
立神社の社寺林	有田市	野字御殿山・立神社	常緑広葉樹林	スダジイ群落 ウバメガシ群落	群落 複合	①	E	県自然環境保全地域	バフチノキ、ヤマモガシを混生する。
宮崎ノ鼻の海岸植生	有田市	女ノ浦・宮崎の鼻	常緑広葉樹林 海岸崖地草本群落	ウバメガシ群落 キキョウウラン群落	群落 複合	①	D	県立自然公園	海崖の岩隙地に特化して生育する草本植物 の重要な生育地である。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・複合	カテゴリー	選定基準	保全制度	特記事項
有田川河口の湿地植生	有田市	有田川感潮域	湿地植物群落 塩性湿地植物群落	ヨシ群落	単一群落	③	D		塩性湿地性植物の重要な生育地である。環境省選定の重要湿地である。
立石の石灰岩地植生	有田郡 有田川町	立石	岩角地・ 風衝低木林	ウバメガシ群落	単一群落	①	D		石灰岩地に特化して生育する草本植物の重要な生育地である。
伏羊のシリブカガシ林	有田郡 有田川町	伏羊	常緑広葉樹林	シリブカガシ群落	単一群落	④	G		道路工事に伴う伐開により一部消失した。
田殿丹生神社のコジイ林	有田郡 有田川町	出・田殿丹生神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ)群落	単一群落	①	E	町指定天然記念物	カンザブアロノキを混生する。
京都大学和歌山研究林の自然林	有田郡 有田川町	上湯川・京都大学 和歌山研究林	針葉樹林 落葉広葉樹林	モミ・ツガ群落 ブナ群落	群落 複合	②	A	国定公園 県立自然公園	京都大学和歌山研究林として管理される森林である。
若藪山のブナ林	日高郡 日高川町	若藪山	落葉広葉樹林	ブナ群落	単一群落	②	A E	県立自然公園	周囲の伐採・伐開により縮小された残存林である。
白馬山のブナ林	有田郡 有田川町	白馬山	常緑広葉樹林 落葉広葉樹林	ブナ・アカガシ群落	単一群落	①	A		山頂部に残るブナ群落の残存林でアカガシ、ヒメシヤラ、モミ、ツガを混生する。
亀谷の自然林	田辺市	龍神村・城ヶ森山・ 亀谷	針葉樹林 落葉広葉樹林	モミ・ツガ群落 ブナ群落	群落 複合	①	A	県自然環境保全地域	モミ・ツガを主体とする林分で残線部分にブナ群落の残存林がある。
護摩壇山の自然林	田辺市	龍神村・護摩壇山	針葉樹林 落葉広葉樹林	モミ・ツガ群落 ブナ・ミズナラ群落	群落 複合	③	A	国定公園	冷温帯森林植生を代表する自然林が残る。ニホンシカカの食害による林床性草本の消失が著しい。
西ノ河の自然林	日高郡 日高川町	寒川・西ノ河	針葉樹林 落葉広葉樹林	モミ・ツガ群落 ブナ群落	群落 複合	①	A	県自然環境保全地域	
霊巖寺の石灰岩地植生	有田郡 日高川町	霊巖寺	岩角地・ 風衝低木林	ウバメガシ・ツゲ群落	単一群落	①	D		石灰岩地に特化して生育する草本植物の重要な生育地である。
鷹島のスダジイ林	有田郡 日高川町	鷹島	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一群落	②	E	県立自然公園	
黒島の暖地性植物群落	日高郡 由良町	黒島	常緑広葉樹林 林縁性つる植物 群落	ウバメガシ群落 タブノキ群落 ハカマカズラ群落	群落 複合	②	C	県立自然公園 県指定天然記念物	暖地性植物の生育地であるとともにハカマカズラ等の分布北限域として重要である。
衣奈八幡神社のスダジイ林	日高郡 由良町	衣奈・衣奈八幡神社	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一群落	②	E	県立自然公園	
西部海岸域のアコウ个体群	有田郡湯浅町 日高郡由良町 日高郡日高町 日高郡美浜町 御坊市	西部海岸域	常緑広葉樹林	アコウ群落	単一群落	③	C E	県立自然公園(一部) 町指定天然記念物 (一部)	近年、開発に伴う大径木の伐採が目立つ。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・ 複合	カテゴリー	選定 基準	保全制度	特記事項
蟻島のタブノキ林	日高郡日高町	蟻島	常緑広葉樹林	タブノキ群落	単一 群落	①	A	県立自然公園	
御霊神社のイヌマキ林	日高郡日高町	小浦・御霊神社	針葉樹林	イヌマキ群落	単一 群落	①	F	町指定天然記念物	植栽起源と思われるイヌマキの大径木がま とまって生育する。
阿尾の湿地植生	日高郡日高町	阿尾	海浜草本群落 湿地植物群落	ハマオモト群落 ダンチク群落 ヨシ群落	群落 複合	②	D	県立自然公園	海跡湖に発達したヨシ群落である。北側海 岸部に海浜植生を隣接する。
日ノ山のウバメガシ林	日高郡美浜町	三尾・日ノ山	海岸低木林	ウバメガシ群落	単一 群落	②	D	県立自然公園	ウバメガシが純林状に生える小規模な海岸 林である。
龍王神社の社寺林	日高郡美浜町	三尾・龍王神社	常緑広葉樹林 海岸低木林	スダジイ群落 ウバメガシ群落 イブキ群落	群落 複合	②	E	県立自然公園 県指定天然記念物	
煙樹ヶ浜の松林	日高郡美浜町	煙樹ヶ浜	針葉樹林	クロマツ・アカマツ 群落	単一 群落	③	F	県立自然公園	防風・防潮林として育成管理されたもので 海岸性植物の生育地として重要である。
松原王子神社の社寺林	日高郡美浜町	吉原・松原王子神社	針葉樹林	イヌマキ群落	単一 群落	②	E	県指定天然記念物	イヌマキが純林状に生える小規模な社寺林 である。
日高川河口の湿地植生	御坊市	塩屋・王子川及び 日高川河口	海岸低木林塩性 湿地植物群落	ハマボウ群落 ヨシ群落	群落 複合	①	D		ハマボウ群落については市指定天然記念 物。環境省選定の重要湿地である。
上阿田木神社のスギ林	日高郡 日高川町	平・上阿田木神社	針葉樹林	スギ群落	単一 群落	②	F		多数のスギ巨木からなる社寺林で低木層に ルリミノキのまとまった群落がみられる。
御滝神社の社寺林	日高郡 日高川町	大滝川・御滝神社	常緑広葉樹林	ウラジロガシ群落 ウバメガシ群落	群落 複合	②	E	県自然環境保全地域	
川又観音の社寺林	日高郡印南町	川又・川又観音	常緑広葉樹林 針葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落 ウラジロガシ群落 トサワラ群落	群落 複合	①	A H	県自然環境保全地域	トチノキの大径木は県指定天然記念物。ト サワラを密度高く混生する部分がある。
真妻神社のコジイ林	日高郡印南町	田ノ垣内・真妻神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E		ツゲモチが高密度で混生する。
畑峰地藏社のウバメガシ林	日高郡印南町	椋川・畑峰地藏社	常緑広葉樹林	ウバメガシ群落	単一 群落	②	E		
切目神社の社寺林	日高郡印南町	西ノ地・切目神社	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	①	E		ホルトノキの巨木は県指定天然記念物であ る。
切目川河口のハマボウ群落	日高郡印南町	島田・切目川河口	海岸低木林	ハマボウ群落	単一 群落	②	D		一度伐採された後に萌芽更新した群落であ る。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・複合	カテゴリー	選定基準	保全制度	特記事項
御坊市・日高郡・田辺市のため池群	御坊市 日高郡日高町・ 日高川町・み なべ町・印南 町・田辺市	6市町における ため池27ヶ所	池沼植物群落	池沼植物群落	群落 複合	③	D		多様な生育型を示す浮葉・沈水植物群落の重要な生育地である。環境省選定の重要湿地である。
小殿神社のイスノキ林	日高郡 みなべ町	晩稻・小殿神社	常緑広葉樹林	イスノキ群落	単一 群落	②	E	県指定天然記念物	イスノキが純林状に生える小規模な社寺林である。
鹿島のタブノキ林	日高郡 みなべ町	鹿島	常緑広葉樹林	タブノキ群落	単一 群落	②	E	国立公園 町指定天然記念物	
須佐神社のコジイ林	田辺市	中万呂・須佐神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	③	E		
神島の自然林	田辺市	新庄町・神島	常緑広葉樹林 海岸低木林	タブノキ群落 ウハメガシ群落	群落 複合	②	A	国立公園 国指定天然記念物	ハカマカズラが生育する。パフチノキが多く混生し、林床にはキノクニスゲ、タキキビなどが生育する。
三所神社の社寺林	西牟婁郡 白浜町	瀬戸・三所神社	常緑広葉樹林 海岸低木林	スダジイ群落 ウハメガシ群落	群落 複合	①	E	国立公園 県指定天然記念物	ホルトノキ、イヌマキ、オガタモノキの巨木を混生する。
白浜のオオミズゴケ群落	西牟婁郡 白浜町	白浜半島中央部	湿地植物群落	オオミズゴケ群落	単一 群落	③	C		
日神社のコジイ林	西牟婁郡 白浜町	十九洲・日神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E		
高瀬川河口のハマボウ群落	西牟婁郡 白浜町	富田・高瀬川河口	海岸低木林	ハマボウ群落	単一 群落	①	D		
笠甫の湿地植生	西牟婁郡 白浜町	笠甫	湿地植物群落	湿地植物群落	群落 複合	①	D	国立公園	近年、周辺からの土砂流入により湿地が陸地化しつつある。
岡川八幡のコジイ林	西牟婁郡 上富田町	岡・岡川八幡神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E	県指定天然記念物	
住吉神社の社寺林	田辺市	鮎川・住吉神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	②	E	県指定天然記念物	オガタモノキの巨木は県指定天然記念物である。イチイガシ、ヤマモガシを混生する。
春日神社の社寺林	田辺市	中辺路町大内川・ 春日神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) ・シラカシ群落	単一 群落	①	E		高木層に紀南地域に少ないシラカシが見られる。
果無山脈の自然林	田辺市	中辺路町、本宮町果 無山脈安堵山以東	針葉樹林落葉 広葉樹林	モミ・ツガ群落 ブナ群落	群落 複合	②	A		県境をまたがる稜線沿いに連なった残存林である。
要書森山のトガサワラ林	田辺市	本宮町・要書森山	針葉樹林	トガサワラ群落	単一 群落	①	B		トガサワラが密度高く混生する。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・複合	カテゴリー	選定基準	保全制度	特記事項
東ノ川の自然林	田辺市	本宮町・東ノ川	針葉樹林	モミ・ツガ群落	単一群落	②	A H		植林地帯に二分されて残された残存林でトガサワラが部分的に優占する。
坂泰山の自然林	田辺市	中辺路町兵生・坂泰山 富田川源流域	常緑広葉樹林 針葉樹林	ツブラジイ(コジイ) ツガ群落	単一群落	①	A		
笠塔山の自然林	田辺市	中辺路町温川・笠塔山	針葉樹林	モミ・ツガ群落	群落複合	①	A	県立自然公園	モミ・ツガを主体とする林分で山頂部分にブナ・アカガシを混生する。下部はツブラジイ(コジイ)が混生する。
水上の自然林	田辺市	中辺路町水上	常緑広葉樹林 針葉樹林 落葉広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落 モミ・ツガ群落 ブナ・アカガシ群落	群落複合	②	A	県立自然公園	自主的に保護された民有林でトガサワラが密度高く混生し多数の巨木を含む。
大杉谷・黒蔵谷の自然林	田辺市	本宮町・大杉谷・黒蔵谷 大塔川流域 野竹法師山山頂部	常緑広葉樹林 落葉広葉樹林 針葉樹林	ウラジロガシ・アカガシ群落 ブナ群落 ツガ群落 ヒノキ群落	群落複合	①	A H	県立自然公園 林野庁指定森林生物 遺産資源保存林	ウラジロガシ・アカガシを主体とする常緑広葉樹林で尾根部にツガ、ヒノキを交えた紀南地域を代表する特色ある森林である。
大塔山の自然林	田辺市 東牟婁郡古座川町 新宮市熊野川町	大塔山山頂北側尾根部 中小屋谷 前ノ川流域 古座川源流域 奥山谷和田川支流域	常緑広葉樹林 落葉広葉樹林 針葉樹林	ウラジロガシ・アカガシ群落 ブナ群落 ツガ群落 ヒノキ・コウヤマキ群落	群落複合	①	A	県立自然公園 林野庁指定大塔山モミ・ツガ・ブナ・植物群落保護林(山頂部北側斜面の大塔山固有林)	紀南地域を代表する森林植生であり、位置的に次の5つに大分される。 ①山頂北側斜面のブナ群落 ②中小屋谷のツガ群落 ③前ノ川流域のウラジロガシ・アカガシ群落 ④古座川源流域のウラジロガシ群落 ⑤熊野川町奥山谷のブナ・アカガシ群落 山頂周辺においては森林再生を目的とした植生状況調査が実施されている。
法師山の自然林	田辺市	法師山	落葉広葉樹林	ウラジロガシ・アカガシ群落 ブナ群落	群落複合	①	A	県立自然公園	本州南限域のブナ群落であり尾根部岩崖地にはヒノキ・コウヤマキが生育する。
安川のヒノキ・コウヤマキ林	田辺市	下川上・安川渓谷	針葉樹林	ヒノキ・コウヤマキ群落	単一群落	②	D	県立自然公園	深谷の尾根部岩崖地に特化して生育するヒノキ・コウヤマキの群落である。
将軍山・大森山の自然林	西牟婁郡白浜町 東牟婁郡古座川町	将軍山・大森山	常緑広葉樹林 針葉樹林	ウラジロガシ群落 モミ群落	群落複合	①	A	県立自然公園	スダジイ・アカガシを混生する常緑広葉樹林である。北海道大学和歌山研究林として管理される大森山保存林を含む。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・複合	カテゴリー	選定基準	保全制度	特記事項
安宅八幡神社のコジイ林	西牟婁郡 白浜町	安宅・安宅八幡神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) ・イチイガシ群落	単一 群落	②	E	県指定天然記念物	境内にイチイガシの巨木がある(県指定天然記念物)。
琴の滝の自然林	西牟婁郡 すさみ町	広瀬谷・琴の滝	常緑広葉樹林	スダジイ群落 ウラボシガシ群落	群落 複合	③	A H	県自然環境保全地域	コバンモチ、アラカシ、ヤマモガシを混生する。
稲積島の自然林	西牟婁郡 すさみ町	周参見・稲積島	常緑広葉樹林 海岸低木林	スダジイ群落 ウバメガシ群落 イブキ群落	群落 複合	①	A	国立公園国指定 天然記念物	イヌマキ、イスノキ、タブノキ、ホルトノキ等を混生するスダジイ林である。
沖ノ黒島の自然林	西牟婁郡 すさみ町	沖ノ黒島	常緑広葉樹林 海岸低木林	ウバメガシ群落	単一 群落	①	D E	国立公園	海崖に特化して生育するイブキ群落がみられる。
江須崎の自然林	西牟婁郡 すさみ町	江須崎	常緑広葉樹林 海岸低木林	スダジイ群落 ウバメガシ群落 イブキ群落	群落 複合	②	A C	国立公園	イヌマキ、タブノキ、ホルトノキ等を混生するスダジイ林で林縁にハカマカズラ、シマサルナシが見られる。
里野八幡神社の社寺林	西牟婁郡 すさみ町	里野・里野八幡神社	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	①	E	町指定天然記念物	ホルトノキ、ハマセンダン、オガタマノキ、ハワチノキを混生する。
苗我島のスダジイ林	東牟婁郡 甲本町	苗我島	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	③	A	国立公園	紀伊大島架橋工事に伴う伐開により一部消失した。
大島のマテバシイ群落	東牟婁郡 甲本町	猪喰鼻周辺	常緑広葉樹林	マテバシイ群落	単一 群落	②	C	国立公園	海岸部に野生状態で生育しているが本来の自生かどうが定かでない。
大島のハドノキ群落	東牟婁郡 甲本町	大島	海岸低木林	ハドノキ群落	単一 群落	②	C	国立公園	
檜野海岸のスダジイ林	東牟婁郡 甲本町	檜野	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	①	A C	国立公園	
通夜島のスダジイ林	東牟婁郡 甲本町	通夜島	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	②	A	国立公園	
潮岬・紀伊大島の海岸植生	東牟婁郡 甲本町	潮岬及び紀伊大島	海岸低木林 海岸産地草本群落	ウバメガシ群落 イブキ群落 キノクニシオギョウ群落	群落 複合	①	D	国立公園	海崖の岩隙地に特化して生育する草本植物の重要な生育地である。
重畳山のスダジイ林	東牟婁郡 甲本町	重畳山	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	①	A		
九龍島の自然林	東牟婁郡 甲本町	九龍島	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	②	A C G	国立公園 町指定天然記念物	
甲本町田原地区の水田・湿地	東牟婁郡 甲本町	田原	湿地植物群落	湿地植物群落	群落 複合	②	D		多様な生育型を示す湿地性植物の重要な生育地である。環境省選定の重要湿地である。



表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・ 複合	カテゴリー	選定 基準	保全制度	特記事項
八坂神社のコジイ林	東牟婁郡 古座川町	池野山・八坂神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	G	町指定天然記念物	
尾崎神社の社寺林	東牟婁郡 古座川町	西赤木・尾崎神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E H	県立自然公園 町指定天然記念物	
成見川の自然林	東牟婁郡 古座川町	成見川流域	常緑広葉樹林 針葉樹林	ツブラジイ(コジイ) ・ツガ群落 モミ群落	群落 複合	①	A	県立自然公園	湿崖に特化して生育する草本植物等の重要な生育地である。
古座川峡の岩上・岩隙植生	東牟婁郡 古座川町	古座川峡・一枚岩	常緑広葉樹林 岩上・岩隙草本 群落	ウバメガシ群落 イフヒバ群落	群落 複合	②	G	県立自然公園	岩上・岩隙に特化して生育する草本植物等の重要な生育地である。
浦神半島のウバメガシ林	東牟婁郡 那智勝浦町	浦神半島	海岸低木林	ウバメガシ群落	単一 群落	①	D E	国立公園	
太田川河口の湿地植生	東牟婁郡 那智勝浦町	下里・太田川河口	海岸低木林 塩性湿地植物群落	ハマボウ群落 ヨシ群落	群落 複合	①	C		日高川河口に次ぐ県下二番目の規模のハマボウ群落である。環境省選定の重要湿地である。
下里の池の谷湿地植生	東牟婁郡 那智勝浦町	下里・池の谷	湿地植物群落	湿地植物群落	群落 複合	①	D		湿地性植物の生育地として重要である。
八尺鏡野の湿地植生	東牟婁郡 那智勝浦町	八尺鏡野	湿地植物群落	湿地植物群落	群落 複合	①	D		湿地性植物の生育地として重要である。
太地海岸のスダジイ林	東牟婁郡 太地町	太地・太地海岸	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	①	A C G	国立公園	ハマセンダンの巨木が見られる。
太地のリュウビンタイ群落	東牟婁郡 太地町	太地	シダ植物群落	リュウビンタイ群落	単一 群落	②	G		スギ植林地の林床は南方系シダ植物の重要な生育地である。
河立の湿地植生	東牟婁郡 太地町	河立	湿地植物群落	湿地植物群落	群落 複合	①	D		湿地性植物の生育地として重要である。
夏山の湿地植生	東牟婁郡 太地町	夏山	湿地植物群落	湿地植物群落	群落 複合	①	D	国立公園	湿地性植物の生育地として重要である。
ゆかし潟の塩性湿地植生	東牟婁郡 那智勝浦町	湯川・ゆかし潟周辺	海岸低木林 塩性湿地植物群落	ハマボウ群落 ヨシ群落	群落 複合	①	D	国立公園	塩性湿地に特有な植物の重要な生育地である。環境省選定の重要湿地である。

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・ 複合	カテゴリー	選定 基準	保全制度	特記事項
那智原始林・那智山国有林 の自然林	東牟婁郡 那智勝浦町	那智山・一の滝・ 二の滝・三の滝・ 陰陽の滝周辺	常緑広葉樹林 針葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落 ツガ群落 スギ群落	群落 複合	①	A E F	国立公園 国指定天然記念物 (一部)	紀南地域を代表する暖温帯森林植生で位置 的に2つに大分される。 ①一の滝から陰陽の滝周辺はホルトノキ、 イスノキ、イチイガシを交えるツブラジイ (コジイ)林。 ②一の滝周辺はスギ群落、滝上部はツガ群 落から成る。
那智山旧参道のスギ並木	東牟婁郡 那智勝浦町	那智山・熊野那智 大社	針葉樹林	スギ群落	単一 群落	②	F	国立公園 県指定天然記念物	大門坂から一の滝にかけての参道沿いに林 立するスギ並木が、石畳の古道と調和した 景観を形成し、森林性植物の重要な生育地 となっている。
宇久井半島の海岸植生	東牟婁郡 那智勝浦町	宇久井・宇久井半島	常緑広葉樹林 海岸低木林 海岸崖地草本群落	スダジイ群落 タブノキ群落 ウバメガシ群落 キノクニシオギワ群落	群落 複合	②	C D E	国立公園	岩崖地の海岸植生と水底神社のスダジイ群 落、蛭子神社のタブノキ群落から成る。
久嶋(孔島)鈴島植物群落	新宮市	三輪崎・孔島・鈴島	海浜草本群落	ノアサガオ群落 ハマモト群落	群落 複合	①	D	国立公園 市指定天然記念物	
新宮蘭沢の浮島植物群落	新宮市	蘭ノ沢	針葉樹林 湿地植物群落	スギ群落 テツホシダ群落	群落 複合	①	D	国指定天然記念物	浚渫、地下水導水工事により湿地の環境保 全対策が施されている。 環境省選定の重要湿地である。
阿須賀神社のスダジイ林	新宮市	阿須賀・蓮菜山	常緑広葉樹林	スダジイ群落	単一 群落	②	E	市指定天然記念物	
千穂ヶ峯の自然林	新宮市	千穂ヶ峯	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落 ウバメガシ群落	群落 複合	①	E	国立公園	
白見山国有林の自然林	新宮市	白見山	常緑広葉樹林 針葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落 ツガ群落	群落 複合	①	A	国立公園	
高田のトガサワラ林	新宮市	高田・白見山	針葉樹林	トガサワラ群落	単一 群落	①	B		トガサワラが高密度で生育する。
白見山民有林の自然林	新宮市	白見山	常緑広葉樹林 針葉樹林	アカガシ・ウラジロ ガシ群落 モミ・ツガ群落	群落 複合	②	A	県立自然公園	アカガシ・ウラジロガシを主体とする照葉 樹林で上部はモミ・ツガ・トガサワラが混 生する。
大雲取山のアカガシ林	新宮市	大雲取山	常緑広葉樹林	アカガシ群落	単一 群落	①	A H		

表2 植物群落の一覧表

植物群落名	市町村名	所在地	植生のタイプ	植生の種類	単一・ 複合	カテゴリー	選定 基準	保全制度	特記事項
静閑浄の崖地植生	新宮市	熊野川町鎌塚・ 静閑浄	常緑広葉樹林 岩上・岩隙草本 群落	ウバメガシ群落 イワヒバ群落	群 複合	①	B D	県自然環境保全地域	湿崖に特化して生育する草本植物の重要な 生育地である。
大倉畑山のウラジロガシ林	新宮市	熊野川町小口・ 大倉畑山	常緑広葉樹林	ウラジロガシ群落	単一 群落	①	A	県立自然公園	ウラジロガシを主体とする常緑広葉樹林で 尾根部にはトガサワラが生育する。
和田川峡の崖地植生	新宮市	熊野川町・ 和田川峡	常緑広葉樹林 針葉樹林 溪流辺低木林 岩上・岩隙草本 群落	ツブラジイ(コジイ) ・ツガ群落 サツキ群落 イワヒバ群落	群 複合	①	B D	県立自然公園	湿崖や溪流沿いに特化して生育する草本・ 木本植物の重要な生育地である。
皆地の湿地植生	田辺市	本宮町皆地	湿地植物群落	湿地植物群落	単一 群落	③	D		移入された動植物の影響により本来の湿地 環境が失われている。
中下番のシマユキカズラ 群落	田辺市	本宮町中下番	林縁性つる植物 群落	シマユキカズラ群落	単一 群落	①	B C	市指定天然記念物	スギ植林地の林内・林縁部に生育するつる 植物群落である。
平治ノ滝の崖地植生	田辺市	本宮町下平治・ 平治ノ滝	常緑広葉樹林 岩上・岩隙草本 群落	ウラジロガシ群落 ウバメガシ群落 岩上・岩隙草本群落	群 複合	①	G		湿崖に特化して生育する草本植物の重要な 生育地である。
三里神社のコジイ林	田辺市	本宮町切畑・三里 神社	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	E		
瀬八丁のコジイ林	新宮市	熊野川町・瀬八丁	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	A	国立公園	断崖地に発達したツブラジイ(コジイ)群 落が自然景観資源として重要である。
嶋津の森のコジイ林	新宮市	熊野川町嶋津	常緑広葉樹林	ツブラジイ(コジイ) 群落	単一 群落	①	A	国立公園 市指定天然記念物	北山川にできた中州の船頭部分に残った森 林である。
四ノ谷の自然林	東牟婁郡北山村	茶臼山・四ノ谷	常緑広葉樹林針 葉樹林	ウラジロガシ群落 モミ・ツガ群落	群 複合	①	A		尾根部岩崖地にトガサワラ・ヒノキを混生 する自然林である。

- 赤井龍男. 1979. 高野山国有林学術参考保護林の群落構造と植生遷移. 39pp. 大阪営林局, 大阪.
- 福嶋 司 他. 1995. 日本のブナ林群落の植物社会学的新体系. 日本生態学会会誌, 45: 79-98.
- 後藤 伸. 1996. 紀伊半島におけるウバメガシ林の注目すべき昆虫Ⅱ 紀伊半島のウバメガシ林の分布について. 南紀生物, 38 (1): 13-18.
- 後藤 伸・吉田元重・山本佳範・津村真由美. 1994. 天然記念物神島の緊急調査 田辺湾神島におけるウ類による糞害の生態学的研究. 田辺文化財 自然編. 37: 3-50.
- Hara, Y., Oki, S., Uchiyama, Y., Ito, K., Tani, Y., Naito, A. and Sampei, Y. 2021. Plant Diversity in the Dynamic Mosaic Landscape of an Agricultural Heritage System. The Minabe-Tanabe Ume System. *Land*, 10 (6): 559.
- 服部 保. 1983. 日本の照葉樹林の群落体系について. 神戸大学教育学部研究集録, 71: 123-157.
- 服部 保. 2002. 種生物学会編. 保全と復元の生物学 野生動物を救う科学的思考. 照葉樹林の植物地理から森林保全を考える. 203-222. 文一総合出版, 東京.
- 法眼利幸. 2008. 和歌山県におけるカシノナガキクイムシの被害と調査. 林業と薬剤, 183: 1-7.
- 石崎厚美. 護摩壇山ワイルドライフ施設整備事業に係る動物、植物等調査報告. 160pp. 和歌山. 海南市教育委員会. 1995. 春日の森調査報告書. 132pp. 海南.
- 環境省自然環境局生物多様性センター. 第6回・第7回自然環境保全基礎調査植生調査情報提供ホームページ. <http://www.vegetation.jp/index.html>
- 関西自然保護機構編. 1983. 友ヶ島学術調査. 296pp. 和歌山.
- 佳山良正. 1956. 和歌山県生石山高原の地勢並びに植生調査. 兵庫農科大学研究報告 畜産学編, 2 (2): 48-52.
- 紀の川自然に親しむ会. 1986. 紀の川下流域(那賀郡粉河町)における氾濫原の植生. 南紀生物, 28 (2): 77-83.
- 木下慶二. 1969. 西の河原生林の植生 (I). 南紀生物, 11 (1): 13-22.
- 木下慶二. 1969. 西の河原生林の植生 (II). 南紀生物, 11 (2): 47-50.
- 木下慶二. 1971. 西の河原生林の植生 (III). 南紀生物, 13 (1): 25-28.
- 木下慶二. 1971. 西の河原生林の植生 (IV). 南紀生物, 13 (2): 61-64.
- 木下慶二. 1972. 大塔山原生林の植生 第1報. 南紀生物, 14 (2): 33-37.
- 木下慶二. 1973. 大塔山原生林の植生 第2報. 南紀生物, 15 (1): 15-20.
- 木下慶二. 1973. 大塔山原生林の植生 第3報. 南紀生物, 15 (2): 41-44.
- 木下慶二. 1975. 太地海岸天然林の植生. 南紀生物, 17 (2): 47-53.
- 木下慶二. 1980. 紀伊半島最南端の檜野と通夜島のシイ・タブ林について II. 南紀生物, 22 (2): 88.
- 木下慶二. 1982. 日高川河口におけるハマボウ群落の分布と地下部の構造について. 46pp. 和歌山県土木部港湾課, 和歌山.
- 木下慶二. 1982. 紀北地域の植生 紀北地域自然環境調査報告書. 55pp. 和歌山.
- 木下慶二. 1984. 和歌山県における石灰岩地植生について I. 南紀生物, 26 (2): 86-92.
- 木下慶二. 1985. 和歌山県における石灰岩地植生について II. 南紀生物, 27 (1): 55-60.
- 木下慶二. 1991. 田原湿地(和歌山県古座町)の植生について. 南紀生物, 33 (2): 112-118.
- 木下慶二. 1992. 田原湿地(和歌山県古座町)の植生について 補遺. 南紀生物, 34 (2): 120.
- 木下慶二. 1996. 河立湿地(太地町)の植生について. 南紀生物, 38 (2): 90-96.
- 木下慶二・山元 晃. 1983. 和歌山県の蛇紋岩地植生について. 植物地理・分類研究, 31 (1): 58-67.

- 国際湿地保全連合日本委員会. 2002. 日本の重要湿地 500 (平成 13 年度重要湿地普及啓発業務報告書). 382pp. 環境省自然保護局, 東京.
- 栗生 剛・中森由美子. 2011. 健全な森林づくりに関する研究 病虫獣害防除手法の確立 (第二報). 和歌山県農林水産総合技術センター林業試験場業務報告, 68:6-9.
- 真砂久哉・後藤 伸・玉井澄夫. 1988. 神島の生物 和歌山県田辺湾神島 陸上生物調査報告書. 89pp. 田辺市教育委員会, 田辺.
- 松下 弘・後藤 伸. 1991. 古座川の自然 I. 40pp. 古座川町教育委員会, 古座川.
- 松下 弘・後藤 伸. 1991. 古座川の自然 II. 61pp. 古座川町教育委員会, 古座川.
- みくまの総合資料館研究委員会. 1996. 熊野の自然と歴史. 83pp. 新宮市教育委員会, 新宮.
- 宮脇 昭 他. 1971. 熊野枯木灘県立自然公園の植生. 熊野枯木灘自然公園学術調査報告書. 47-82. 日本自然保護協会, 東京.
- 宮脇 昭 他. 1984. 日本植生誌 近畿. 596pp. 至文堂, 東京.
- 水野泰邦. 1970. 和歌山県日高郡由良町衣奈付近の暖帯林植生. 南紀生物, 12 (1):11-15.
- 水野泰邦. 1985. 和歌山県のシイ型自然林について (県南部のシイ林). 和歌山県立熊野高等学校紀要, 10:54-76.
- 中村正寿 編. 1976. 和歌山公園および岡公園の植生等調査報告書. 70pp. 和歌山.
- 中村正寿. 1979. 和歌山市中・北部の社叢. 和歌山文化財総合調査報告, 2:46-81.
- 小川由一. 1950. 紀伊黒沢山の蛇紋岩地植物. 植物分類・地理, 12 (4):187-188.
- 小川由一. 1952. ヒモヅルは紀州にも産する. 植物分類・地理, 14 (5):163-164.
- 大塔山系生物調査グループ. 1971. 大塔山系の自然 I. 40pp. 大塔山系生物調査グループ, 田辺.
- 大塔山系生物調査グループ. 1971. 大塔山系の自然 II. 69pp. 大塔山系生物調査グループ, 田辺.
- 大塔山系生物調査グループ. 1972. 大塔山系の自然 III. 86pp. 大塔山系生物調査グループ, 田辺.
- 大塔山系生物調査グループ. 1974. 大塔山系の自然 IV. 71pp. 大塔山系生物調査グループ, 田辺.
- 新宮藺沢浮島植物群落調査委員会. 1991. 国指定天然記念物 新宮藺沢浮島植物群落 調査報告書. 157pp. 新宮.
- 末松四郎・木下慶二. 1982. 根来寺寺域および周辺地域植生調査書. 129pp. 新義真言宗 総本山根来寺, 岩出.
- 末松四郎・木下慶二・水野泰邦・乾風 登・新谷育生. 1982. 御坊発電所新設に係る植生特別調査報告書 (昭和 57 年度). 44pp. 和歌山県自然保護調査会植生特別調査グループ, 田辺.
- 管沼孝之・水野泰邦・後藤 伸. 1994. 吉野熊野国立公園及びその周辺地域の植生. 35-47. 吉野熊野国立公園学術調査報告書日本自然保護協会 関西支部, 大阪.
- 高橋和也・藤田大和・白波瀬卓哉・吉安勇介. 2005. 紀の川におけるウラギクの生育環境特性に関する考察. 日本緑化工学会誌, 31 (1):39-44.
- 田村雅弘. 1995. 和歌山城の森 近況報告 (1). 紀州生物, 24:19-24.
- 田村雅弘. 1996. 和歌山城の森 近況報告 (2). 紀州生物, 25:31-42.
- 田村雅弘. 1997. 和歌山城の森 近況報告 (3). 紀州生物, 26:12-16.
- 田村雅弘. 1998. 和歌山城の森 近況報告 (4). 紀州生物, 27:25-30.
- 田村雅弘. 1999. 和歌山城の森 近況報告 (5). 紀州生物, 28:16-20.
- 田村雅弘. 2000. 和歌山城の森 近況報告 (6). 紀州生物, 29:4-9.
- 田村雅弘. 2001. 和歌山城の森 近況報告 (7). 紀州生物, 30:56-58.
- 田村雅弘. 2003. 和歌山城の森 近況報告 (8). 紀州生物, 32:9-12.
- 田辺高校生物部・後藤 伸. 1965. 紀伊半島南部における極相林の研究 [ I ] 稲積島. 南紀生物, 7 (2):54-64.
- 田辺高校生物部・後藤 伸. 1966. 紀伊半島南部における極相林の研究 III [ VI ] 九龍島. 南紀生物,

8 (2) : 72-74.

田辺高校生物部・後藤 伸. 1968. 紀伊半島南部における極相林の研究IV [ V ] 那智山南斜面の森林. 南紀生物, 10 (1-2) : 45-48.

田辺高校生物部・後藤 伸. 1969. 紀伊半島南部における極相林の研究VII [ XI ] 那智山上部の森林. 南紀生物, 11 (2) : 60-67.

田中みち代・高須英樹. 1981. 紀ノ川下流域氾濫原の植生. 植物地理・分類研究, 29 (1) : 51-59.

我が国における保護上重要な植物種および植物群落の研究委員会植物種分科会. 1989. 我が国における保護上重要な植物種の現状. 320pp. 財団法人 日本自然保護協会・財団法人 世界自然保護基金日本委員会, 東京.

我が国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落分科会. 1996. 植物群落レッドデータ・ブック. 1344pp. 財団法人 日本自然保護協会・財団法人 世界自然保護基金日本委員会, 東京.

和歌山県. 1974. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 大杉大小屋黒蔵谷天然林, 西の河及び亀谷天然林. 70pp. 和歌山.

和歌山県. 1974. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 箕六弁天社寺林, 琴の滝, 川又観音社寺林, 立神社社寺林, 水上天然林. 51pp. 和歌山.

和歌山県. 1975. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 笠塔山原生林. 11pp. 和歌山.

和歌山県. 1976. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 大滝川地域, 大塔山奥山谷, 白見山天然林, 四ノ谷原生林, 立神社々寺林. 124pp. 和歌山.

和歌山県. 1977. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 坂泰山天然林. 76pp. 和歌山.

和歌山県. 1978. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 東ノ川地域. 16pp. 和歌山.

和歌山県. 1978. 特定植物群落調査報告書. 222pp. 和歌山.

和歌山県. 1979. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 将軍山地域, 大倉畑山, 平治ノ滝地域, 和田川峡, 前ノ川天然林. 142pp. 和歌山.

和歌山県. 1981-1983. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 古座川下流域, 安川溪谷, 成見川天然林, 龍門山. 338pp. 和歌山.

和歌山県. 1987. 植生調査報告書. 103pp. 環境庁, 東京.

和歌山県. 1988. 特定植物群落調査報告書. 189pp. 環境庁, 東京.

和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課. 2021. 令和3年版環境白書. 158pp. 和歌山.

和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室. 2012. 保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—2012年改訂版. 442pp. 和歌山.

和歌山県教育委員会. 1999. 和歌山県文化財ガイドブック 上巻. 202pp. 和歌山.

和歌山県教育委員会. 1999. 和歌山県文化財ガイドブック 下巻. 202pp. 和歌山.

和歌山県林政課. 1993. 紀の川の森林植生. 126pp. 林野庁, 東京.

和歌山県自然環境研究会. 2002. 大塔山系 大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林 自然環境調査報告集. 225pp. 和歌山県自然環境研究会, 田辺.

和歌山県自然保護調査会. 2005. 高野町石道・熊野古道の植生と動植物相の調査. 56pp. 和歌山.

山田直利. 1996. 日本地質図体系6近畿地方. 126pp. 朝倉書店, 東京.

山中二男. 1972. 蛇紋岩地帯の植物群落学的研究 I X 和歌山県の蛇紋岩地帯の植生. 高知大学教育学部研究報告, 24 (2) : 27-33.

山中二男. 2001. 日本の森林植生 (補訂版). 223pp. 築地書館, 東京.

矢頭献一. 1975. 和歌山県西牟婁郡日置川町森林植生調査報告書. 日置川町動植物調査報告書, 18pp. 田村技術士事務所.

吉田元重. 1994. ふるさとの自然 沼池—金屋町—. 5pp. SAWAYAKA 委員会, 金屋.